

## 例 言

- 本書は、埼玉県入間郡大井町内に所在する遺跡群の1999年度の発掘調査報告書である。
- 発掘調査および整理作業は、国庫(3,600,000円)、県費(1,800,000円)の補助金の交付を受け、平成11年4月5日から平成12年3月31日まで実施した。
- 調査組織
 

|        |             |                 |           |
|--------|-------------|-----------------|-----------|
| 調査主体者  | 大井町教育委員会    | 文化財保護係長         | 坪田幹男      |
| 担当課    | 生涯学習課文化財保護係 | 文化財保護係・庶務       | 高橋偕子      |
| 教育長    | 遠藤正明        | 文化財保護係・発掘調査担当者  | 高崎直成・鍋島直久 |
| 教育次長   | 石井忠夫        | 大井町臨時職員・発掘調査担当者 | 土本医       |
| 生涯学習課長 | 金子忠弘        |                 |           |
- 本書作成にあたっての作業分担は次のとおりである。
 

編集：鍋島直久  
 執筆：本文・遺構 鍋島直久、縄文土器 今井堯  
 挿図割付：高橋けい子 写真図版割付：青山奈保美 土器・陶磁器復元：中田藤子 表作成：植田勢津子  
 土器・陶磁器実測：青山奈保美、石垣ゆき子、植田勢津子、須藤さち子、丹治つや子 トレース：小林登喜江  
 土器拓影・図版作成：青山奈保美、石垣ゆき子、植田勢津子、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、中田藤子、山口妙子  
 遺構写真：坪田幹男、高崎直成、鍋島直久、土本 医 遺物写真：鍋島直久、青山奈保美  
 土器・石器実測の一部を(有)JAWSに委託した。  
 また、整理作業全般において日本考古学協会の今井堯氏の援助と協力を得た。
- 各遺跡の調査から報告書刊行にいたるまで下記の諸氏・機関より御指導・ご協力を賜った。(敬称略)  
 会田昭明、天ヶ嶋岳、荒井幹夫、石原聡、市丸靖子、内田賢司、岡田憲治、加藤智香子、加藤秀之、梶原勝、  
 梶原喜世子、神木繁嘉、國見徹、隈本健介、小出輝雄、駒井和久、桜井信枝、笹森健一、佐藤啓子、島田一郎、  
 鈴木仁子、高貝しづ子、高橋京子、田中信、塚田政子、原口雅樹、早坂廣人、松本新八郎、松本富雄、水村孝行、  
 柳井章宏、柳沢健司、和田晋治  
 埼玉県教育局生涯学習部文化財保護課、東久保土地区画整理組合、大井町立郷土資料館、大井町遺跡調査会、  
 (有)文化財COM。
- 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。記して厚く感謝の意を表したい。  
 〈発掘調査参加者〉(敬称略)  
 新井和枝、飯塚泰子、井上晴江、海老原サナエ、大曾根キク子、笠原英子、金子君子、金丸文男、小林こずい、  
 酒井昭、佐久間ひろ子、佐藤恵二、篠崎忠三、鈴木英子、鈴木エミ子、関田成美、戸澤竹二、中嶋末子、  
 野岡由紀子、林きぬ子、比嘉洋子、福田三枝子、三村美代子、若尾久美子、若林紀美代  
 〈整理作業参加者〉(敬称略)  
 青山奈保美、石垣ゆき子、伊藤弘一、植田勢津子、小林登喜江、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、  
 中田藤子、福島雅子、山口妙子

## 凡 例

- 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。
  - 縮尺は原則として  
 遺構配置図 1:300 遺構平面図・遺物出土状況図 1:60、1:30 炉などの詳細図 1:30  
 土器実測図 1:4 土器拓影図 1:3 石器実測図 1:3、2:3 銭 1:1
  - 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。
  - 遺構図におけるscreen-toneの指示、遺物出土状況のドットの指示。  
 攪乱  地山(ローム)  焼土   
 土器 ● 石器 ★ 黒曜石・チャート ▲ 礫 ○
  - 土器断面図は、「網目」が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。
  - 土器・陶磁器実測図の中心線が破線の場合は、180度回転させて復元実測したことを示す。
- 住居跡名は、遺跡内の通し番号である。
- 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

第2表 1999年度埋蔵文化財調査一覧表

|    | 遺跡名          | 申請地             | 調査面積㎡ | 開発面積㎡  | 原因       | 調査期間                                | 調査措置           |
|----|--------------|-----------------|-------|--------|----------|-------------------------------------|----------------|
| 1  | 亀居遺跡第51地点    | 亀久保3街区4画地       | 202   | 222    | 個人住宅     | 11.6.15~11.7.9                      | 教育委員会で本調査      |
| 2  | 亀居遺跡第52地点    | 亀久保7街区14画地      | 30    | 121    | 個人住宅     | 12.2.1~12.2.2                       | 試掘調査           |
| 3  | 江川南遺跡第10地点   | 東久保2街区9・10画地    | 18    | 133    | 個人住宅     | 11.5.24~11.5.26                     | 試掘調査           |
| 4  | 江川南遺跡第11地点   | 東久保1—122—2・4    | 150   | 465    | 共同住宅     | 11.9.20~11.9.27<br>11.9.28~11.10.15 | 試掘調査後遺跡調査会で本調査 |
| 5  | 江川南遺跡第12地点   | 東久保2街区4・5画地     | 14    | 104    | 個人住宅     | 11.10.26~11.10.28                   | 試掘調査           |
| 6  | 東久保遺跡第13地点   | 東久保381—5        | 10    | 162    | 個人住宅     | 11.11.2                             | 試掘調査           |
| 7  | 東久保遺跡第14地点   | 東久保18街区3画地      | 330   | 823    | 共同住宅     | 11.6.29~11.7.16<br>11.7.19~11.7.29  | 試掘調査後遺跡調査会で本調査 |
| 8  | 東久保遺跡第15地点   | 東久保5街区14~16画地   | 9     | 178    | 個人住宅     | 11.8.2                              | 試掘調査           |
| 9  | 東久保遺跡第16地点   | 東久保15街区1~5・32画地 | 132   | 334    | 個人住宅     | 11.10.1~11.10.6                     | 試掘調査           |
| 10 | 東久保遺跡第17地点   | 東久保381—5        | 121   | 168    | 個人住宅     | 11.6.14~11.6.15                     | 試掘調査           |
| 11 | 東久保遺跡第18地点   | 東久保27街区2画地      | 409   | 14,989 | 小学校グラウンド | 11.11.30~11.12.15                   | 試掘調査           |
| 12 | 東久保遺跡第19地点   | 東久保3街区9・10画地    | 40    | 108    | 店舗併用住宅   | 11.12.20~11.12.21                   | 試掘調査           |
| 13 | 東久保遺跡第20地点   | 東久保4街区9画地       | 234   | 478    | 個人住宅     | 12.2.28~12.3.3                      | 試掘調査           |
| 14 | 東久保遺跡第21地点   | 東久保18街区14画地     | 57    | 114    | 個人住宅     | 12.3.23~12.3.28                     | 試掘調査           |
| 15 | 東久保遺跡第22地点   | 東久保15街区28画地     | 38    | 150    | 個人住宅     | 12.3.22~12.3.23                     | 試掘調査           |
| 16 | 亀久保堀跡遺跡第21地点 | 東久保262・263・266  | 89    | 232    | 個人住宅     | 11.4.19~11.4.22                     | 試掘調査           |
| 17 | 亀久保堀跡遺跡第22地点 | 東久保5街区7・20画地    | 40    | 99     | 個人住宅     | 11.6.10~11.6.12                     | 試掘調査           |
| 18 | 亀久保堀跡遺跡第23地点 | 東久保14街区10画地     | 260   | 386    | 駐車場      | 11.10.4~12.10.8                     | 試掘調査           |
| 19 | 亀久保堀跡遺跡第24地点 | 東久保6街区14画地      | 26    | 105    | 個人住宅     | 11.12.14~11.12.16                   | 教育委員会で本調査      |
| 20 | 東久保西遺跡第8地点   | 東久保9街区13画地      | 52    | 135    | 個人住宅     | 11.11.2~11.11.5                     | 試掘調査           |
| 21 | 東久保西遺跡第9地点   | 東久保14街区1・2・12画地 | 335   | 1,074  | 共同住宅     | 12.1.28~12.2.9                      | 試掘調査           |
| 22 | 東中学校西遺跡第20地点 | 東久保39街区1画地      | 461   | 900    | 区画整理     | 11.6.16~11.7.19                     | 試掘調査           |
| 23 | 東中学校西遺跡第21地点 | 東久保37街区1~3画地    | 733   | 1,311  | 店舗       | 11.11.18~11.12.9                    | 試掘調査           |
| 24 | 東中学校西遺跡第22地点 | 東久保44街区15画地     | 56    | 150    | 個人住宅     | 12.3.7~12.3.9                       | 試掘調査           |
| 25 | 東久保南遺跡第18地点  | 東久保48街区4画地      | 95    | 202    | 個人住宅     | 11.5.14~11.5.18                     | 試掘調査           |
| 26 | 東久保南遺跡第19地点  | 東久保60街区6画地      | 188   | 466    | 駐車場      | 11.7.8~11.7.12                      | 試掘調査           |
| 27 | 東久保南遺跡第20地点  | 東久保49街区1画地      | 367   | 1、106  | 店舗       | 11.12.22~12.1.15                    | 試掘調査           |
| 28 | 西ノ原遺跡第113地点  | 大井苗間57・58街区     | 2,000 | 2,817  | 店舗       | 11.4.5~11.12.14<br>12.1.6~12.3.13   | 試掘調査後遺跡調査会で本調査 |
| 29 | 西ノ原遺跡第114地点  | 西ノ原194—1        | 272   | 676    | 駐車場      | 11.8.4~11.8.12                      | 試掘調査           |
| 30 | 西ノ原遺跡第115地点  | 大井苗間52街区3画地     | 31    | 135    | 事務所      | 11.9.27~11.9.29                     | 試掘調査           |
| 31 | 西ノ原遺跡第116地点  | 大井苗間59街区11画地    | 42    | 119    | 個人住宅     | 11.12.2~11.12.3                     | 試掘調査           |
| 32 | 西ノ原遺跡第117地点  | 大井苗間199—2番地     | 42    | 131    | 店舗併用住宅   | 11.12.2~11.12.4                     | 試掘調査           |
| 33 | 中沢前遺跡第18地点   | 大井苗間1丁目12番地     | 110   | 620    | 店舗併用共同住宅 | 11.7.21~11.7.28                     | 試掘調査           |
| 34 | 中沢前遺跡第19地点   | 大井苗間32街区1・9画地   | 360   | 1,080  | 共同住宅     | 11.7.23~11.7.30                     | 試掘調査           |
| 35 | 中沢前遺跡第20地点   | 大井苗間33街区1画地     | 231   | 374    | 駐車場      | 11.11.25~11.11.30                   | 試掘調査           |
| 36 | 中沢前遺跡第21地点   | 大井苗間32街区4・5画地   | 19    | 120    | 個人住宅     | 11.11.29~11.11.30                   | 試掘調査           |
| 37 | 神明後遺跡第10地点   | 苗間298—1         | 3     | 44     | 個人住宅     | 11.9.16                             | 試掘調査           |
| 38 | 神明後遺跡第11地点   | 苗間366           | 97    | 239    | 個人住宅     | 11.10.21<br>11.10.22~11.10.26       | 試掘調査後教育委員会で本調査 |
| 39 | 神明後遺跡第12地点   | 苗間282—2・5       | 8     | 211    | 共同住宅     | 12.3.6                              | 試掘調査           |
| 40 | 苗間東久保遺跡第21地点 | 苗間神明後333—1      | 95    | 350    | 個人住宅     | 11.8.3~11.8.6                       | 試掘調査           |
| 41 | 浄禅寺跡遺跡第18地点  | 苗間345—3・4       | 303   | 599    | 個人住宅     | 11.5.26~11.6.24<br>11.6.26~11.8.3   | 試掘調査後教育委員会で本調査 |

## II 亀居遺跡の調査

### 1 遺跡の立地と環境

亀居遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部に位置している。標高25～26mで現谷底との比高差は5mを測る。本遺跡をのせる北側の台地は急傾斜をなすが、対岸の南側は緩やかな斜面を形成している。遺跡の時期は、旧石器時代及び縄文時代中期前葉で、特に後者は周辺では類例の少ない単一集落である。江川南遺跡（第16図）の立地とあわせて台地の奥に形成された中期初頭の遺跡のあり方として特異な様相が窺える。遺跡周辺は、土地区画整理事業により区画道路が縦横にとりつけられ、宅地化が進んでいる。

1977年の最初の調査から、第53地点の調査まで、遺跡の約40%に及ぶ約31,700m<sup>2</sup>の調査を行ない、縄文時代中期前半の住居跡13軒、屋外埋壘2基、集石土坑89基、土坑217基、ピット538基が確認されている。

遺物は阿玉台式、勝坂式土器が主体で一部五領ヶ台

上層期の土器片も出土している。

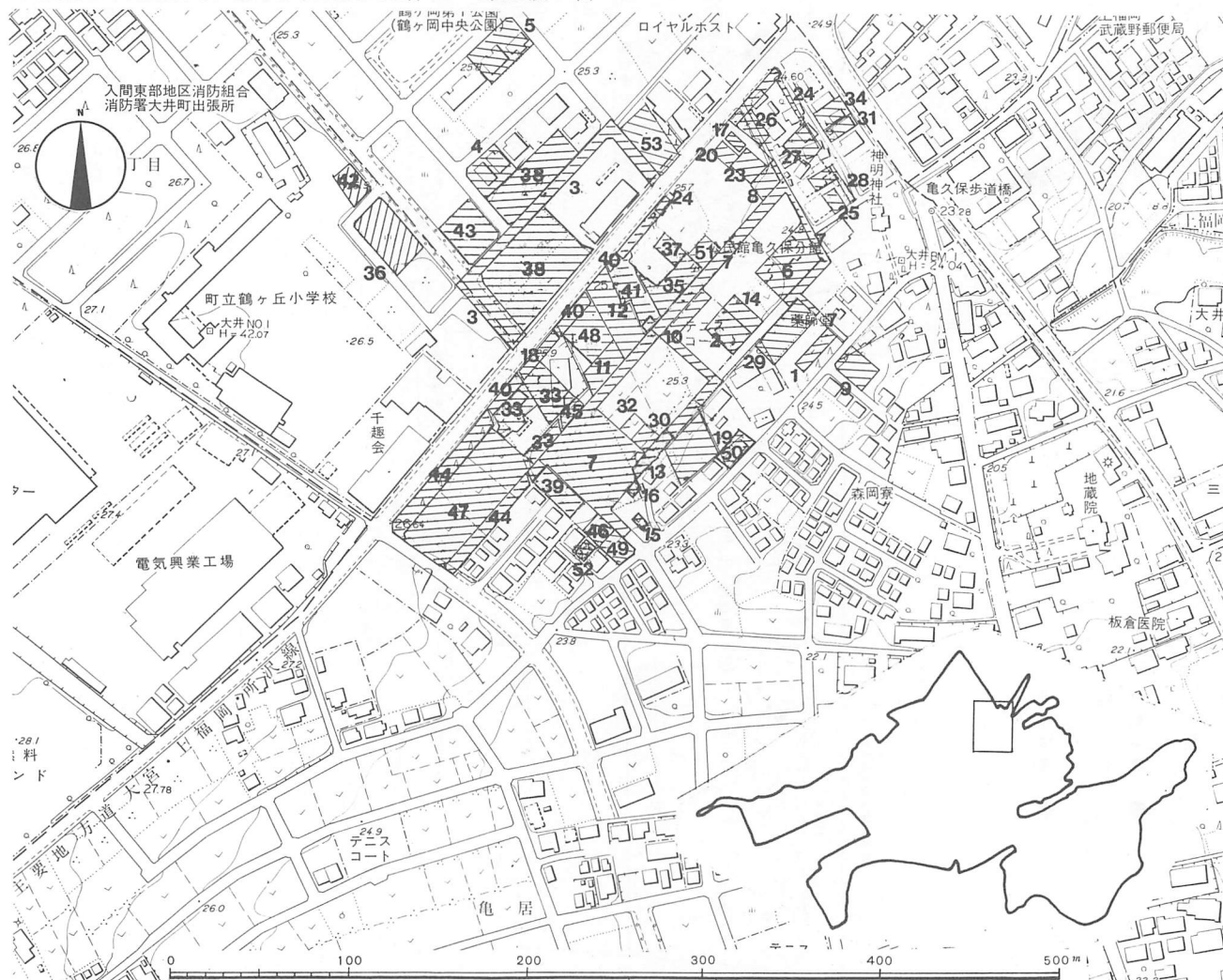
### 2 亀居遺跡第51地点

#### (1) 調査の概要

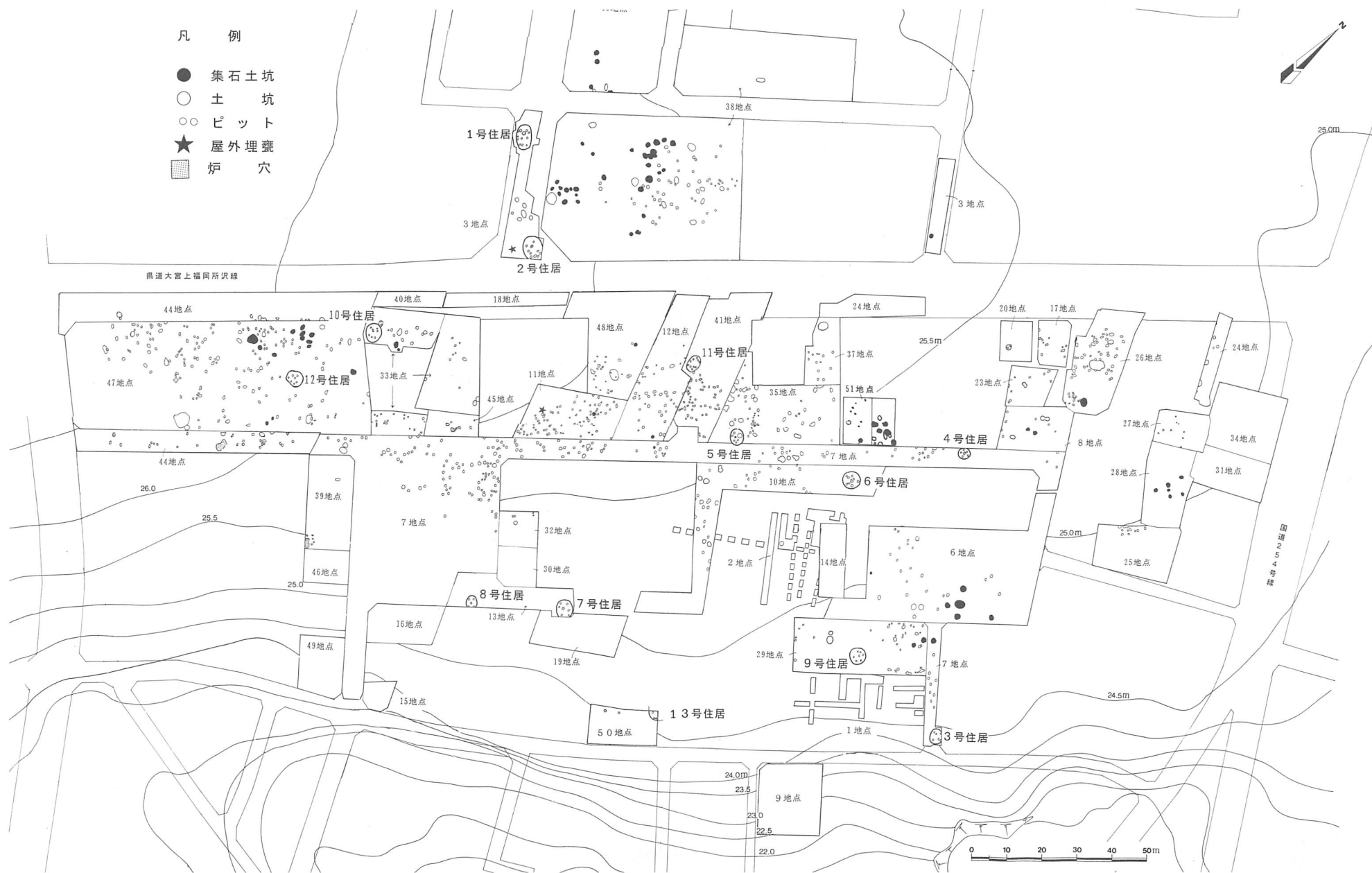
調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より1999年6月11日付で、「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央部に位置し、周辺部の調査から本調査区周辺に遺構が確認されており、原因者と協議の結果、本調査を実施することとした。

調査は残土置場の関係から調査区を東西に分けて行なった。西側調査区は同年6月15日から重機による表土除去後、人力による調査を行なった。

東側調査区は、6月26日から重機による表土除去後、人力による調査を行ない、7月9日埋め戻しを終了した。



第3図 亀居遺跡の地形と調査区 (1/4,000)



第4図 亀居遺跡の調査区と遺構分布図 (1/1,500)

## (2) 遺構と遺物

遺構は、縄文時代中期の集石土坑6基、屋外炉1基、土坑4基、ピット11基、遺物は遺構および遺構外から土器片580点、石器5点が出土した。

### ①集石土坑

【集石土坑84】土坑プランは直径約87cmの円形、深さは確認面より最深部で25.4cmを測る。礫の分布は直径約80cmの範囲に集中するが、南西方向にも散布がみられる。

【集石土坑85】土坑プランは長径113×短径109cm、深さは確認面より最深部で44.1cmを測る。礫の分布は土坑中央で直径50～70cmの範囲に疎に広がる。

【集石土坑86】土坑プランは長径120×短径100cmで、深さは確認面より最深部で39.1cmを測る。礫の分布は土坑内のやや西側に集中する。

【集石土坑87】土坑プランは長径151×短径121cmの楕円形、深さは確認面より最深部で40.2cmを測る。礫の分布は直径約80～95cmの範囲に密に集中する。

【集石土坑88】土坑プランは長径125×短径117cmの円形、深さは確認面より最深部で37.7cmを測る。礫の分布は土坑内でやや北側に多いが全体的には疎である。

【集石土坑89】土坑プランは長径160×短径130cmの楕円形、深さは確認面より最深部で37.6cmを測る。礫の分布は直径約70～90cmの範囲に密に集中する。

### ②屋外炉

耕作により平面形態は不明であるが、残存部の掘り込みは95×90cmの不整形、深さは確認面より最深部で24.9cmを測る。底部に焼土層や硬化面は確認されないが、覆土層には焼土が含まれる。

### ③土坑

【土坑1】集石土坑88、ピット2・3と重複し、集石土坑より新しく、ピットとの関係は不明である。平面形態は不整楕円形で、規模は確認面の径264×(100)cm、底径240×75cm、深さは最深部で26.6cmを測る。

【土坑2】平面形態は楕円形で底部にピットを伴う。規模は確認面の径123×95cm、底径90cm、深さは最深部で27.1cmを測る。ピットは楕円形で直径45～55cm、深さは確認面から38.9cmを測る。

【土坑3】平面形態は楕円形で底部にピットを伴う。規模は確認面の径120×100cm、底径95×75cm、深さは最深部で30cmを測る。ピットは楕円形で直径約45cm、深さは確認面から47.5cmを測る。

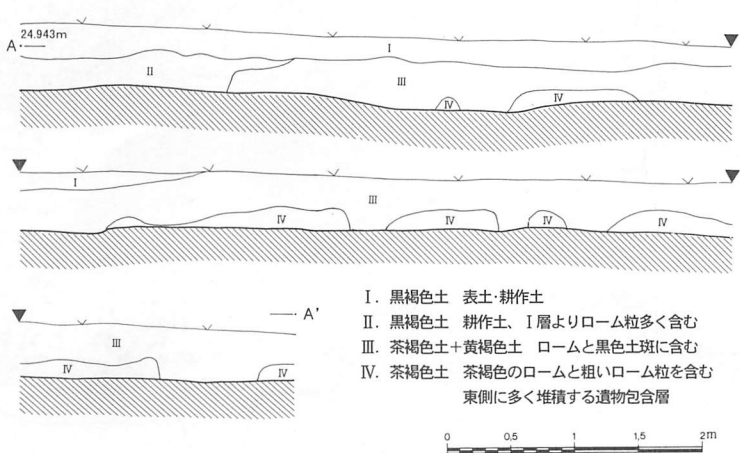
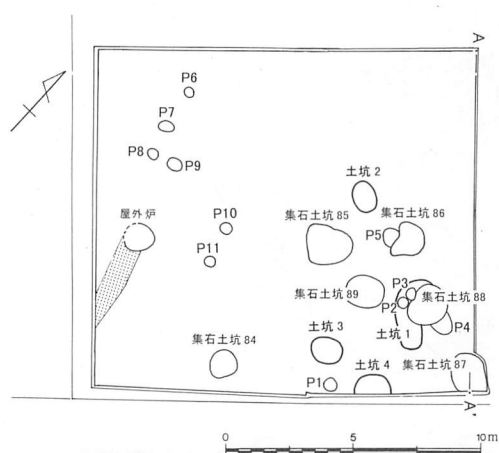
【土坑4】南側は調査区外に延びる。検出部の平面形態は楕円形で底部にピットを伴う。規模は確認面の径145×70cm、底径120×70cm、深さは最深部で28.9cmを測る。ピットは円形で直径約60cm、深さは確認面から25.5cmを測る。

### ④ピット

第6表 亀居遺跡第51地点ピット一覧表

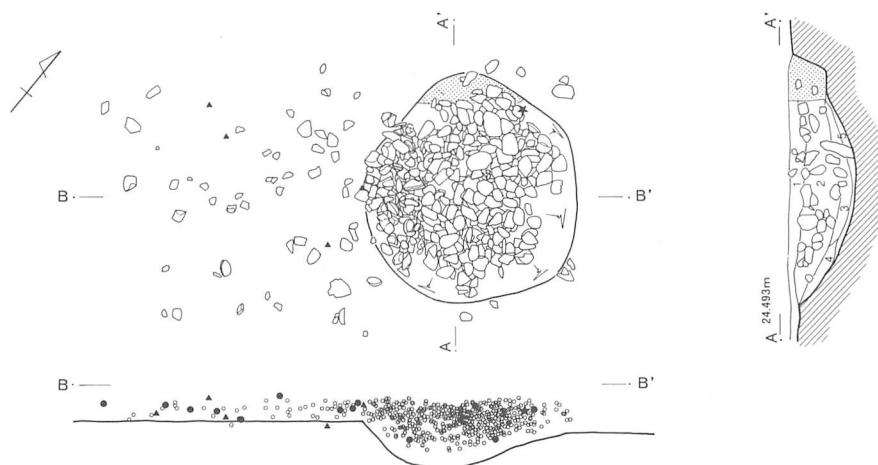
単位cm

|    | 平面形態 | 確認面径    | 底 径   | 深 さ        |
|----|------|---------|-------|------------|
| 1  | 楕円形  | 62～45   | 25～19 | 38.8       |
| 2  | 楕円形  | 45～32   | 20～7  | 77.5       |
| 3  | 楕円形  | 40～29   | 11～11 | 75.2       |
| 4  | 三角形  | 68～60   | 49～30 | 21         |
| 5  | 円形   | 55～(50) | 10～6、 | 16～11・28.7 |
| 6  | 円形   | 49～38   | 22～22 | 30.2       |
| 7  | 円形   | 50～42   | 27～22 | 8.5        |
| 8  | 半円   | 45～36   | 12～10 | 31.8       |
| 9  | 円形   | 54～50   | 32～24 | 26.4       |
| 10 | 楕円形  | 63～40   | 21～17 | 41.4       |
| 11 | 円形   | 40～40   | 6～6   | 24.7       |

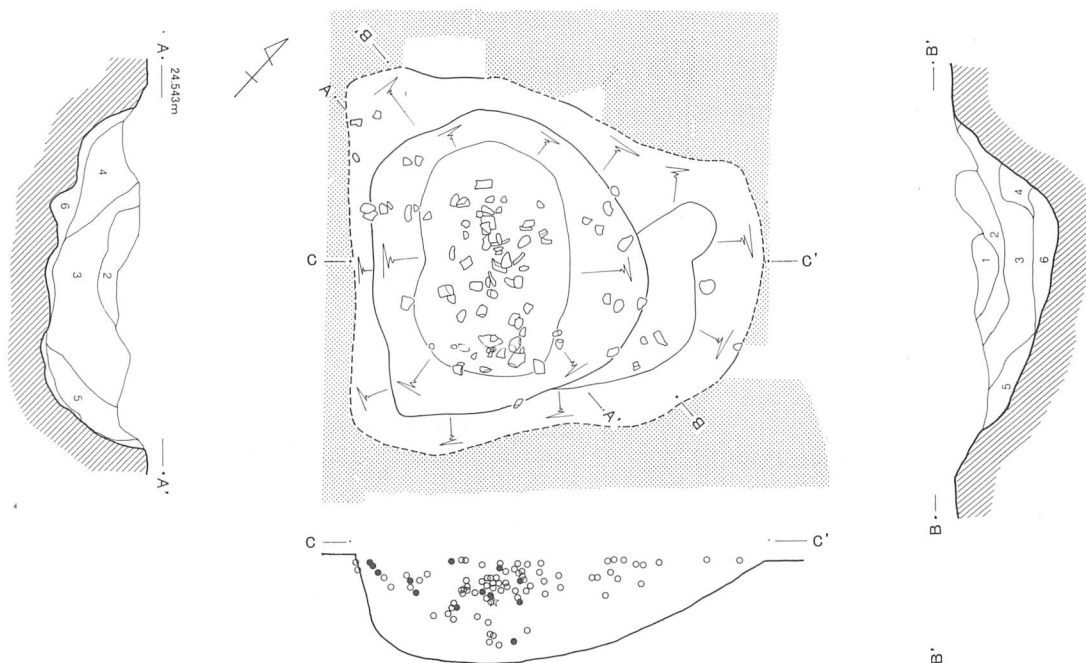


第5図 亀居遺跡第51地点遺構配置図(1/300)・土層(1/60)

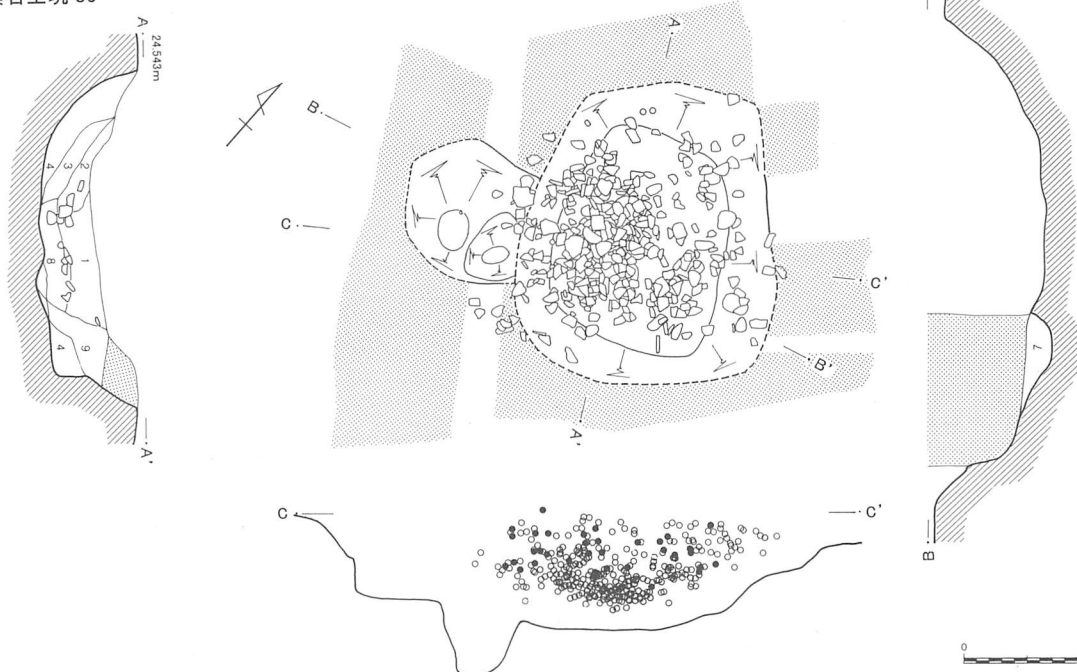
集石土坑 84



集石土坑 85



集石土坑 86



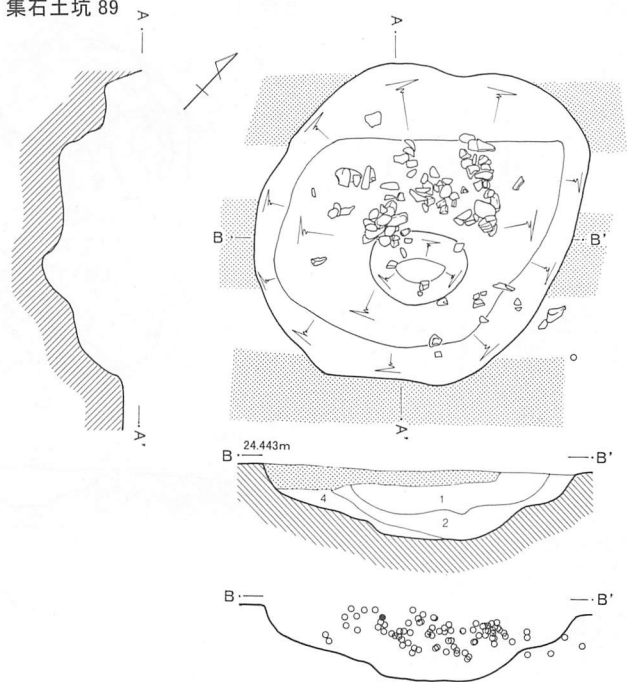
0 0.5 1 m

第6図 亀居遺跡集石土坑84・85・86 (1/30)

集石土坑 87



集石土坑 89



集石土坑 88



## 集石土坑 84

1. 褐色土 ソフトローム・炭化物少量含む
2. 黒色土 黒色土と少量の褐色土の混合で炭化物含む
3. 茶褐色土+黄褐色土 2層の黒色土と5層のソフトロームの混合
4. 黄褐色土+茶褐色土 ソフトロームに類似
5. 黄褐色土 ソフトローム

## 集石土坑 85～89

1. 黒色土 ローム・炭化物含む
2. 暗褐色土 1層よりローム多く含む、炭化物含む
3. 暗褐色土 ロームベースに炭化物多量に含む
4. 暗黄褐色土 ロームベースに炭化物多く含む
5. 暗黄褐色土 4層に類似炭化物少し含む
6. 灰褐色土 ロームベースに褐色土含む
7. 黒褐色土 3層に類似、炭化物少ない
8. 黒色土 炭化物多く含む
9. 黒褐色土 砂質で黒色土と褐色土の混合、炭化物含む

0 0.5 1 m

第7図 亀居遺跡集石土坑87・88・89 (1/30)

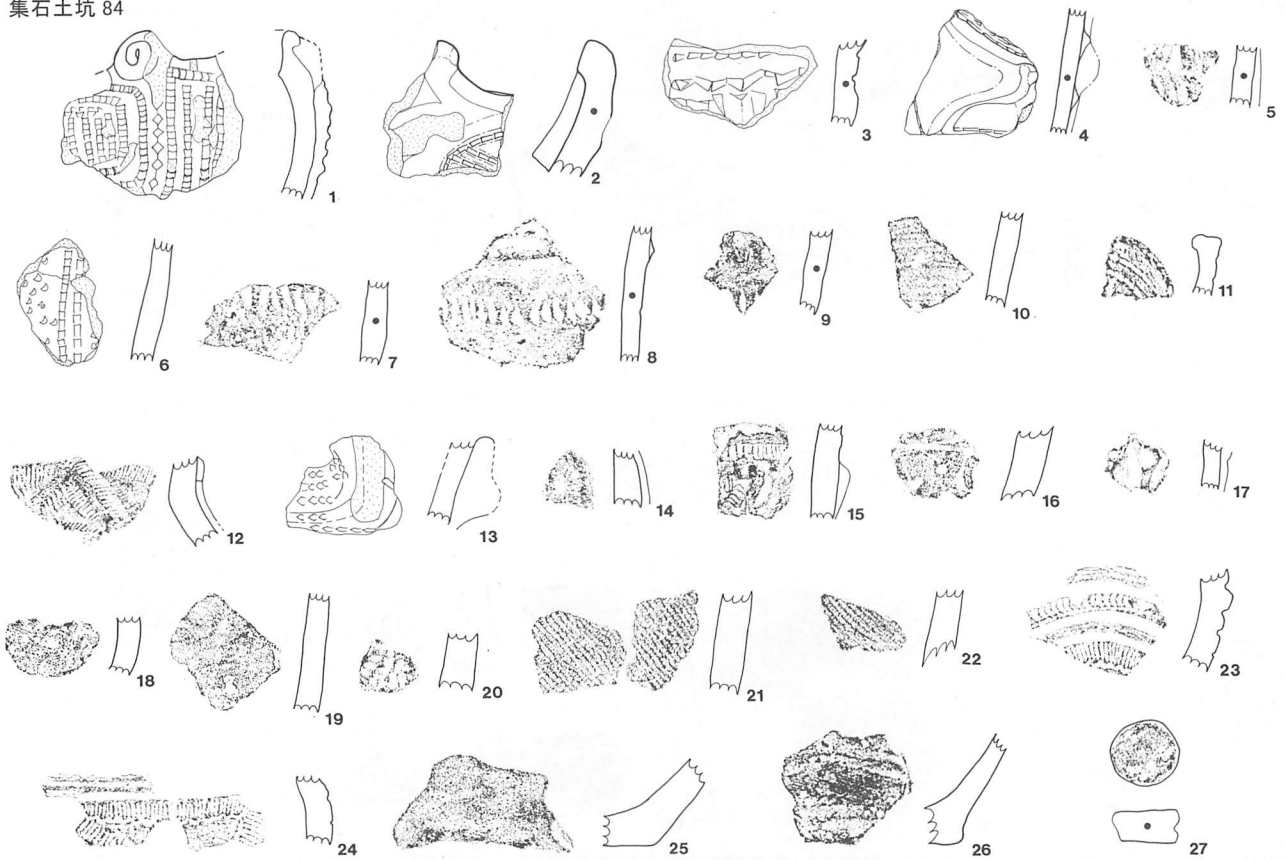
第7表 亀居遺跡第51地点集石土坑出土礫観察表

単位 g、(%)

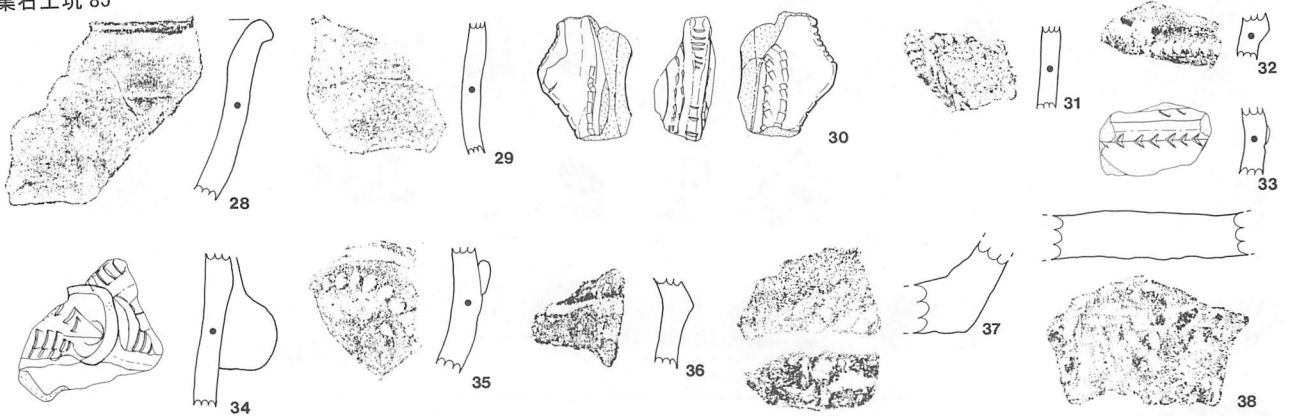
| 集石No | 総点数 | 総重量    | 平均重量 | 破損個数       | 完形個数       | 焼成個数       | 未焼成数    | タール・煤付着数  | タール・煤未付着数  |
|------|-----|--------|------|------------|------------|------------|---------|-----------|------------|
| 84   | 562 | 43,553 | 77.5 | 456 (81.1) | 106 (18.9) | 561 (99.8) | 1 (0.2) | 42 (7.5)  | 520 (92.5) |
| 85   | 78  | 2,682  | 34.0 | 73 (93.6)  | 5 (6.4)    | 78 (100)   | 0 (0)   | 9 (11.5)  | 69 (88.5)  |
| 86   | 347 | 15,663 | 45.1 | 333 (96.0) | 14 (4.0)   | 347 (100)  | 0 (0)   | 29 (8.4)  | 318 (91.6) |
| 87   | 271 | 20,546 | 75.8 | 220 (81.2) | 51 (18.8)  | 271 (100)  | 0 (0)   | 30 (11.1) | 241 (88.9) |
| 88   | 330 | 13,313 | 40.3 | 308 (93.3) | 22 (6.7)   | 330 (100)  | 0 (0)   | 30 (9.1)  | 300 (90.9) |
| 89   | 90  | 5,229  | 58.1 | 79 (87.8)  | 11 (12.2)  | 90 (100)   | 0 (0)   | 15 (16.7) | 75 (83.3)  |



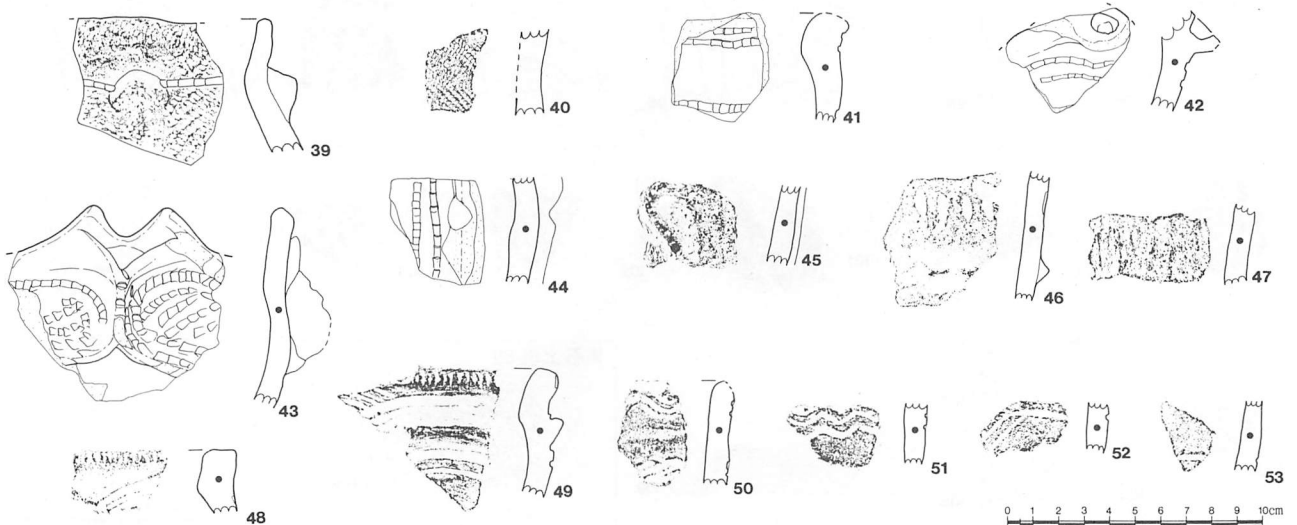
## 集石土坑 84



## 集石土坑 85

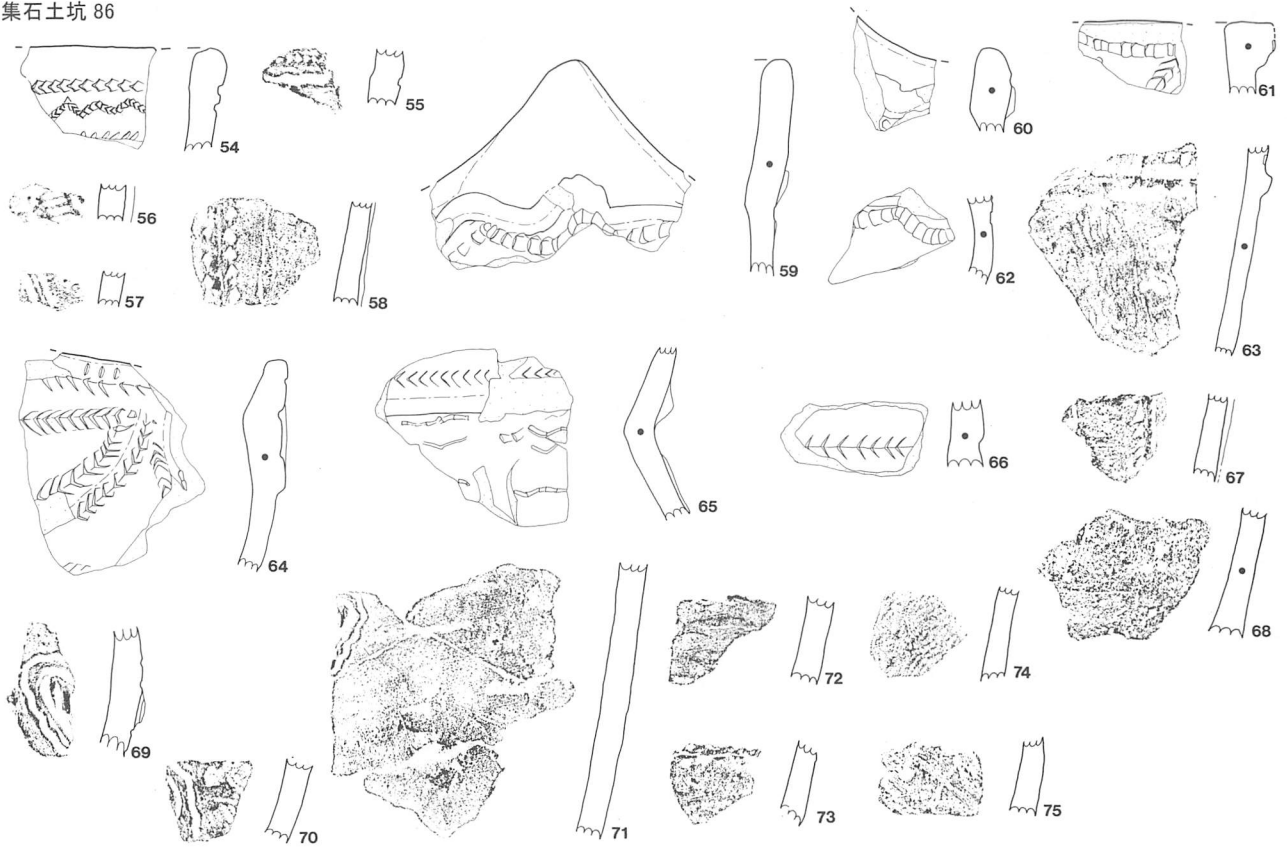


## 集石土坑 86

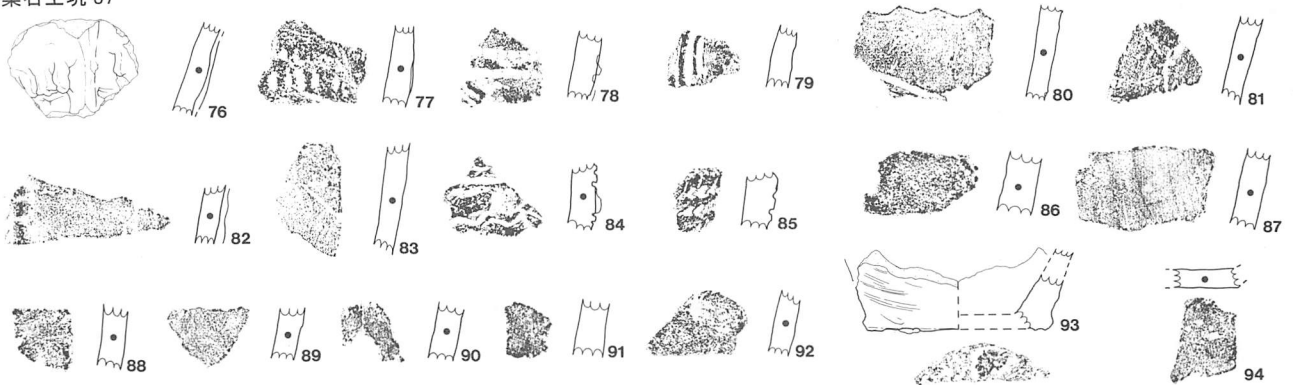


第9図 亀居遺跡集石土坑84・85・86出土土器 (1/3)

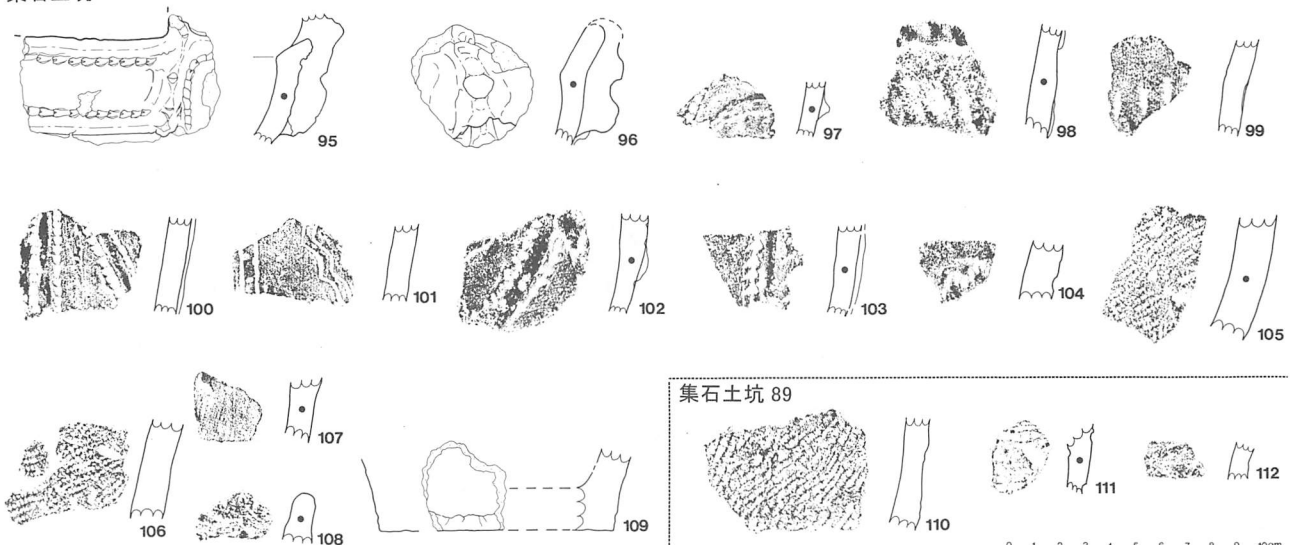
## 集石土坑 86



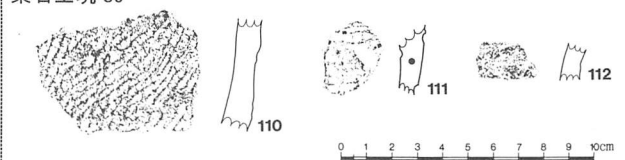
## 集石土坑 87



## 集石土坑 88



## 集石土坑 89



第10図 亀居遺跡集石土坑86・87・88・89出土土器 (1/3)

土坑 1



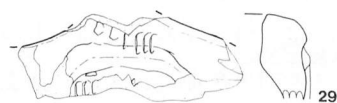
土坑 3



土坑 4



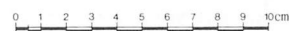
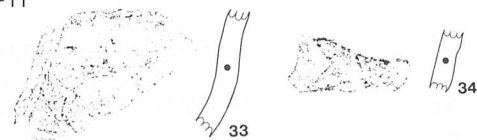
P10



P10



P11



第11図 亀居遺跡第51地点土坑・ピット出土土器 (1/3)

## ⑤遺物

【集石土坑出土遺物】 6基の集石土坑から出土した土器片は計186片で、このうち、無文や細片など77片を割愛した。集石土坑出土土器と遺構外出土片が接合し

たもの、明らかに同一個体と認められるものは、集石土坑出土土器に含めた。接合関係のあるものは、文中に記述した。これらから6基の集石土坑と土坑1は、ほぼ同一時期のものといえる。

1～27は集石土坑84出土で、22は遺構外出土だが、同遺構出土土器と同一個体とみられる土器片である。

1は角押文を多用する深鉢の口縁部片で、波頭部に渦巻きを入れ、隆帯頂に刻目を入れる。区画ぞいと区画内を押引文列で充填する。胎土に輝石粉末と石英を多く含み、表裏共にハジケ現象が著しい。

2は、隆帯ぞいに角押文のほか、押引きによる波状文と指頭圧痕文がある。5には断面三角の隆帯が垂下する。6は角押文に突引文が加わる。7～9は連続爪形文をもつ。11は2列の細い角押文がある。12は三角形区画の隆帯ぞいに押引文を施文し、13は隆帯ぞいと区画内に三角押文を施す。

14は押引文、15は三角押文列と押引文がある。17～19は無文で17には隆帯がある。20・21・22は同一個体で、縄文と胎土に輝石と石英を多く含む。23と24も同一個体で、隆帯上のC字形連続爪形文と、区画ぞいの爪形文と半截竹管刺突の蓮華文が特徴で藤内式である。25と26は無文の浅鉢。

27は側面を入念に調整した土製品で、胎土に金雲母を多量に含み、重さは9.42gである。

28～38は集石土坑85出土である。

28と29は無文で、30は突起の接合部に角押文がある。

31～33は矢状連続押引文、34は幅広押引文を多用し、35は先端が円い押引文をもつ。36は無文で37と38は同一個体の底部と底板である。

39～75は集石土坑86出土である。

39は、外反する口縁部をもつ地文縄文の深鉢で、頸部に1列の角押文が入る。地文は、口唇部がRLで他はLRに施文され、頸部外面に円錐状突起がある。胎土に輝石・石英を多く含んでいる。40は縄文を間隔をあけて施文する。39と40は五領ヶ台式である。

41と42は2列の角押文が施文される。

43は、波状口縁部で、波頭部は2つの山形からなる。口縁部文様帯は断面三角形の高い隆帯による楕円形区画であり、隆帯ぞいの角押文のほか、区画内は斜位の押引文で充填する。口縁の内側には稜がある。

44は、縦位の太い隆帯上を押圧し、隆帯ぞいに2列の角押文列を施文する。45は断面三角形の隆帯によるクランク状懸垂文がある。46は連続爪形文をもつ胴部片、47は無文である。

48と49は、口唇部外面に刻目を入れ、押引きによる弧状沈線を入れ、50と51は押引きに波状文がある。52と53は、押引による沈線が描かれる。

54は、口縁ぞいに矢状連続押引文（三角押文）をめぐらせ、三角押文による波状文・押文を配し、整形入念で赤褐色を呈する。55と56は幅広押引文を基調とし胎土に白色軟質物質を多く含む。57は沈線と細い刺突があり、58は隆帯ぞいに粗大な三角押文を施文する。

59は山形波頭下に粘土紐を蛇状に貼付け、幅広押引文を波状に入れ、集石土坑85出土土器と接合する。59～63は同一個体で、胎土に雲母・輝石・角閃石・茶色軟粒を含み、整形入念で明褐色を呈す。60は波頂部片である。60～62は遺構外出土である。

64は口唇部外面に刻目を入れ、隆帯で半月形の区画を作り、粗大な連続三角押文を隆帯基部から隆帯側面に施し、胎土に輝石・角閃石・白色軟質物質・雲母・白色砂粒を多く含み、焼成は脆く暗～赤褐色を呈する。65～68も同一個体とみられるが遺構外出土である。

69～71は同一個体の胴部片であるが、70と72は遺構外出土である。粘土を貼付けその周辺を二重に波状の押引文で囲うほかは無文である。

73は沈線と押引文、74は縄文の痕跡が残る。

76～94は集石土坑87出土である。

76は断面三角形の隆帯による懸垂文と指頭圧痕のある胴部片で、77も指頭圧痕があり共に阿玉台Ib式。

78は隆帯ぞいに1列の角押文をもち、焼成良好で赤褐色を呈する猪沢式。80は平行沈線と波状沈線を基調とする。85には複列の三角押文があり、86～92は無文胴部片。93は底部片、94は底板部。

95～109は集石土坑88出土である。

95と96は、深鉢の口縁部突起下の太い隆帯部分で粘土紐を芯に入れたもので、95は長方形区画ぞいに角押文を施す。97はクランク状懸垂文をもち角押文が残り、98には指頭圧痕があり、99には連続爪形文がある。

100は隆帯両側に角押文を施文するが、左右の押引きは逆である。101は波状、102と103は隆帯裾に三角押文を入れ、104は三角押文で波形をつくる。

105と106は細縄文を角度を変えて施文する。107～109は無文である。

110～112は、集石土坑89出土である。110は結節状

の縄文をもち、五領ヶ台式か。111は押引文をもち112は無文である。

#### 【土坑・ピット出土土器】

1～25は土坑1出土と、遺構外出土の4点を含む。

1と2は同一個体とみられるが2は遺構外出土である。LRの単節縄文を持ち、胎土に植物繊維を含み1の裏面に著しい。前期の黒浜式であろう。

3は同一個体とみられるが内2片は遺構外出土である。半截竹管による集合沈線・貼付文上に半截竹管による刺突を特徴とし、前期末の諸磯C式といえる。

4は楕円形区画の隆帯ぞいに2列の角押文を、区画内に縦位の角押文列を配する。8は押引きで波状をつくる。9もこれら角押文を多用する類の貉沢式。

5は、断面三角形の隆帯で長方形区画をつくり、隆帯ぞいに角押文を入れ、体部には指頭圧痕が著しい。

6は区画隆帯を剥離しているが、楕円形区画ぞいに複列の押引文を入れる。7は指頭圧痕のみの小片。5～7は阿玉台Ib式といえる。

10は浅鉢の口縁部片で複列の押引文を口唇に入れる。11は波状口縁無文の浅鉢。

12～14は半截竹管状工具による平行沈線を基調とし、12と13は胎土に白色細砂粒と金雲母を多く含む同一個体。15は隆帯上に刻目と裾に押引文、16はクランク状懸垂文片。17と18は沈線、19と20は共に胴部中央に連続爪形文をもち、19には斜位の角押文を2列施文する。21は隆帯両裾に連続押引文がある。22～25は底部、24と25は同一個体とみられるが、25は遺構外出土である。胎土に白色軟質物質・石英・角閃石を含み厚手無文である。

26は土坑3出土の唯一の土器で、無文の胴下部片。

27と28は土坑4出土で、27は角押文と波状文をもつ、28は隆帯の両側に幅広押引文をもつ勝坂Ⅱ式。

29は土坑1とピット10出土土器が接合したもの。波状口縁の波頭部片、波頭下に粘土紐を蛇状に貼付、幅広押引文を施文し、集石土坑86出土の59～63と同一個体である。30は口唇を欠く浅鉢片で、口縁部に押引文を入れる。31は同図版中の4と同一個体と思われる。32は隆帯裾に幅広押引文を配し、33は片側を深くした細長押引文と指頭圧痕文が残る。34は無文。

#### 【遺構外出土土器】

遺構外出土土器の262点を割愛した。

1は、波状口縁深鉢の口縁部片で、口唇の隆帯と波頭の太く高い隆帯上に刻目を入れ、口唇部上面をめぐる1本の沈線と波頭部にはこれに直交する3本の沈線を描く。地文は細かいRL縄文である。胎土に石英・輝石・角閃石の粉末と軟質白色物質を含み、焼成堅緻で赤褐色を呈する。本片と同一個体と思われる破片4片が5号住居覆土から出土している。2は頸部に太い突起をもち、地文は縄文である。1と2は五領ヶ台式。

3は隆帯上に刻目を入れ、胎土は2と同様で黄褐色を呈する。

4～56は、胎土に多量の金雲母を含む阿玉台系である。4は押引文、5は角押文をもつ胴部片で、6は扇形把手破片。7は押引文と指頭圧痕文をもつ胴部片。10～13は口縁部で隆帯の区画内に2列の細長角押文、14～18は押引文をもつ。19～22は指頭圧痕文のみの胴下部片で、22の底には網代痕が残る。25～28は口縁部片で暗～黒褐色を呈する。29は波状口縁で、粘土紐接合部に連続爪形をつける。31～36・38・39は連続爪形文をもつ口縁部と胴部片、37は無文胴部である。

40～48は押引手法による沈線をもつ類で、45は刺突状に押引く。52と53の底には明瞭な網代痕が残る、54～56には繊維の圧痕が残る。

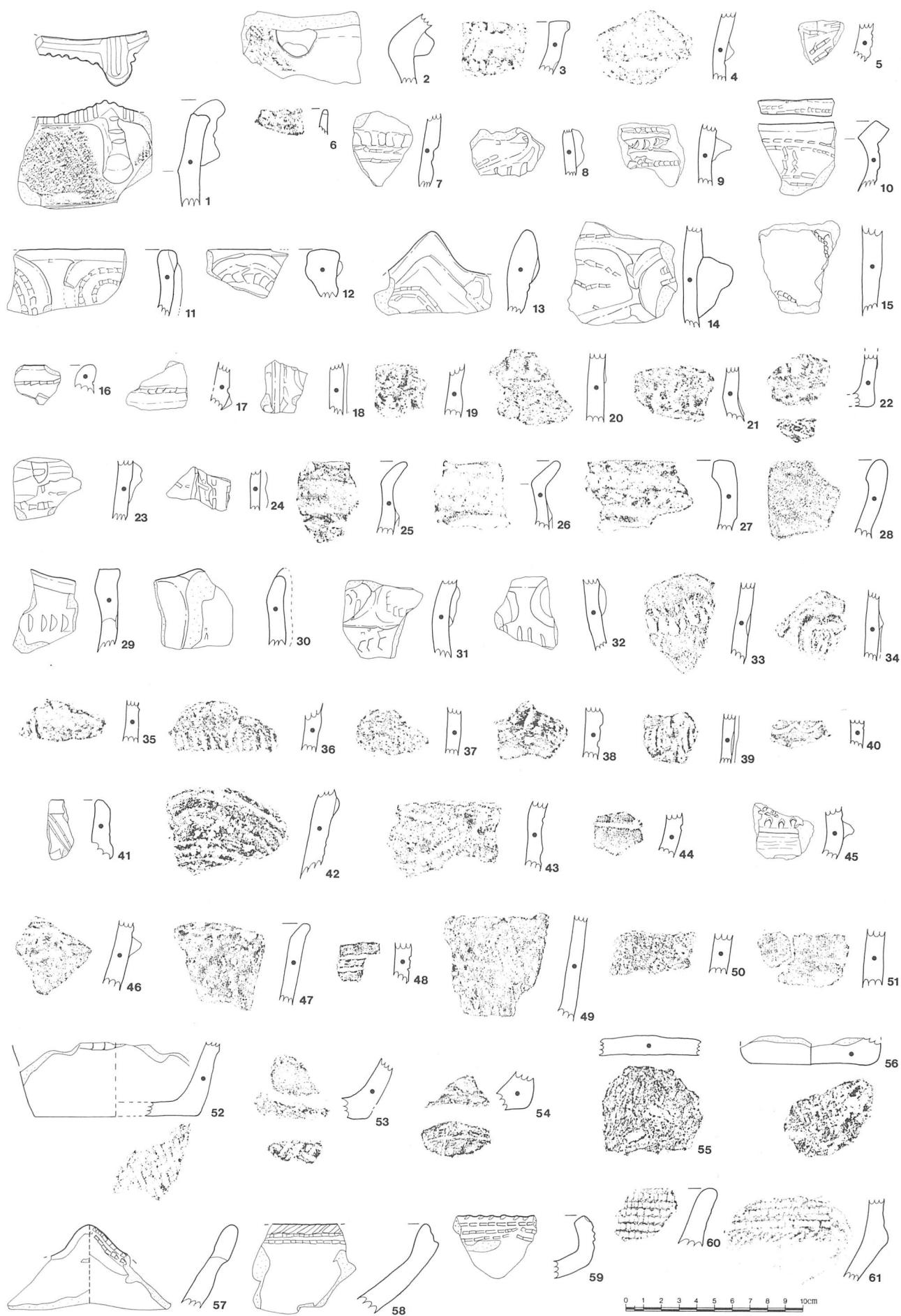
57～61は、角押文を口縁にもつ浅鉢である。57は波状口縁で、口唇内面に2列の押引文がある。58と59は器形は異なるが、口唇に押引による斜位の刻目を入れ直立部に角押文を入れる。60と61は胎土・色調から同一個体とみられ口縁部に6列の押引文を入れ、口縁と体部の境に斜位の刻目を入れる。57～61は貉沢式。

62～69・74は角押文を基調とし、63と68の波状文も押引手法であり、貉沢期のものといえる。

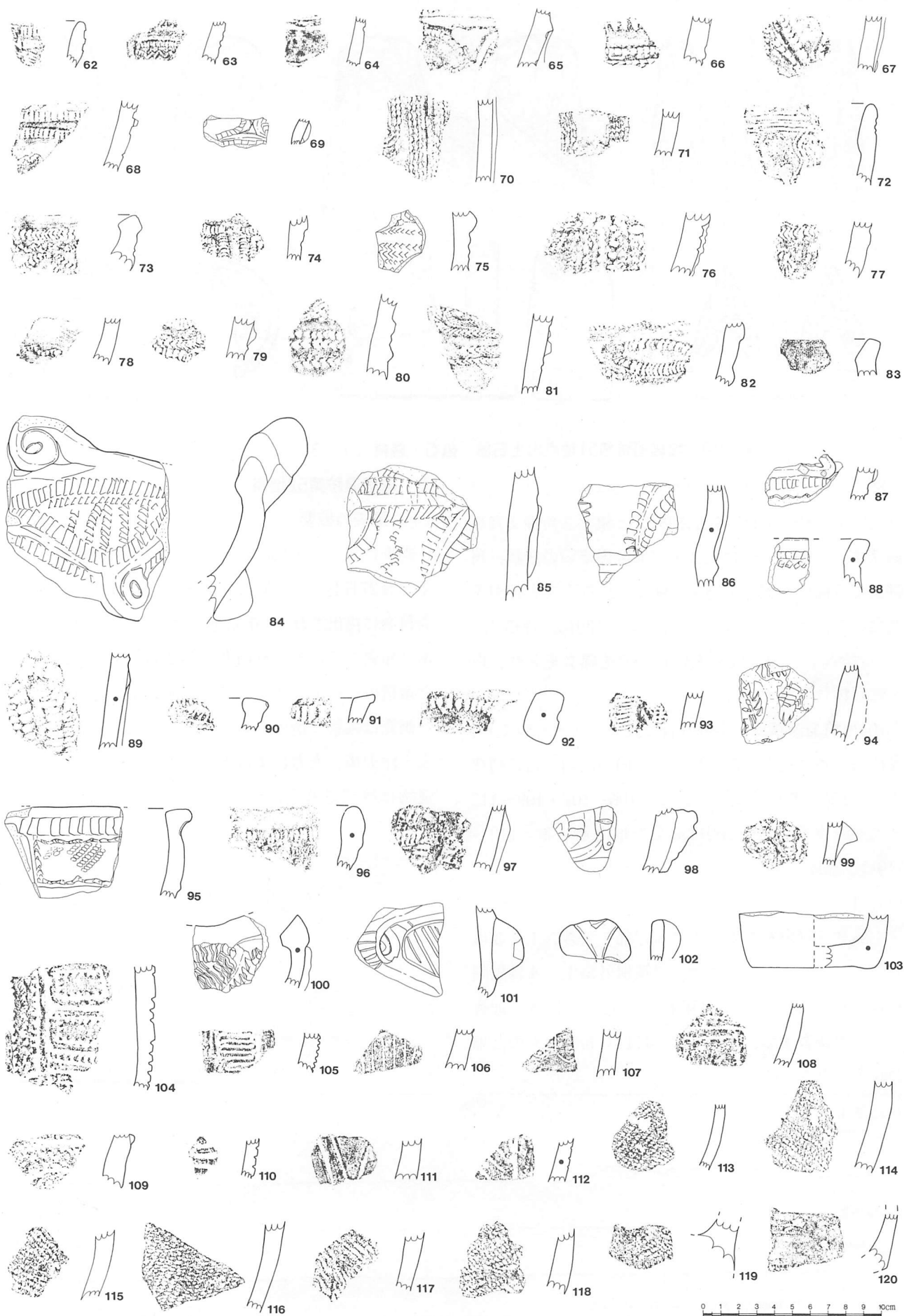
70と71は、隆帯ぞいと区画内に3列の三角押文を入れる。72の3本の平行沈線は押引きで描かれる。

73～82は、三角押文（矢状連続押引文）を鋭く施文する類で、82は胴下半部片で、楕円区画内裾に三角押文をめぐらす。73～82は新道式古相の特徴を示す。

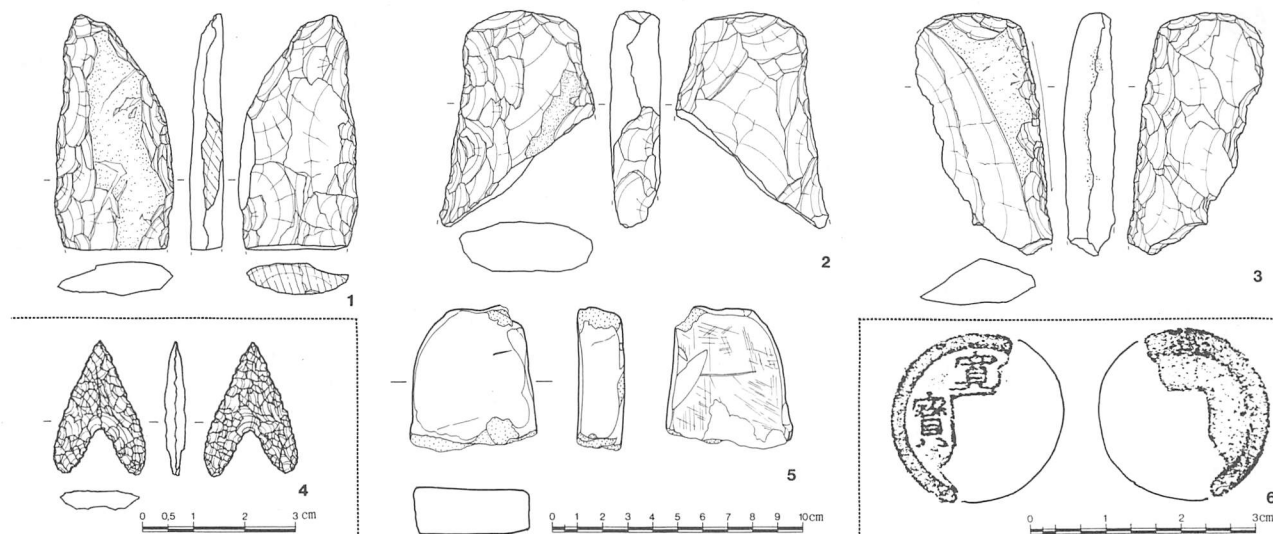
84と85は、胎土・焼成共に同一で、波頭の大把手4をもつ大型深鉢で、三角形区画の隆帯裾に幅広押引文をめぐらし、区画内は縦位の角押文列で埋める。



第12図 亀居遺跡第51地点遺構外出土土器① (1/3)



第13図 亀居遺跡第51地点遺構外出土土器② (1/3)



第14図 亀居遺跡第51地点出土石器・砥石・銭貨 (1/3) (2/3) (1/1)

86は、幅広押引文とやや大きい三角押文をセットで施文する。89と93は、幅広押引文と粗大三角押文列を施文する。95は幅広押引文・方形区画ぞいの波状三角押文で区画内に縄文を施す。96は幅広押引文と押引手法による波状文をもち、97～99は幅広押引文の胴部片。101は突起の側面と区画内に斜位の沈線文を入れ、白色軟質物質を多く含む。

104は筒形深鉢で、半截竹管で長方形区画をつくり、縦位に三角押文を入れるほか、区画の内側に密に刺突する。105は蓮華状文を入れる。106～107・109～112は沈線を基調とし、109は縄文を地文とする。113～119は胴部片で縄文を施す。120は底部片。

#### 【石器】

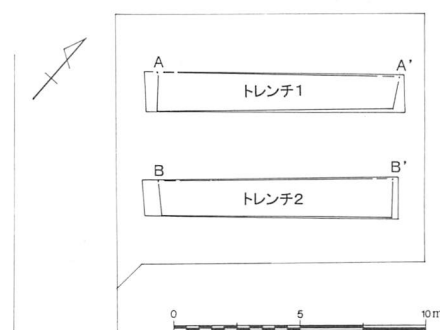
1～3は打製石斧でいずれも刃部を欠き、1と3は砂岩製、2はホルンフェルスで遺構外出土。4は黒曜石製の石鏃で1.07g。5は砥石で59.7g。6は寛永通寶のうちの寛永で、正徳4年(1714)初鑄のものと思われる。重さ1.02g。

## 2 亀居遺跡第52地点

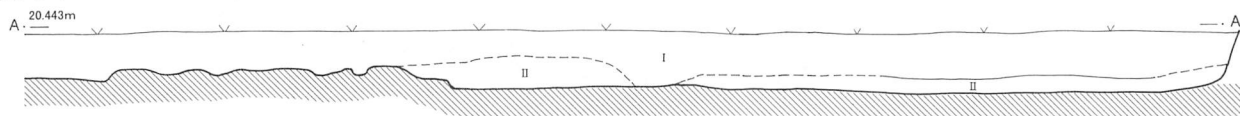
### (1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2000年1月27日付で、「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡の南端部に位置し、南に傾斜している。原因者と協議の結果、遺跡の範囲と遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

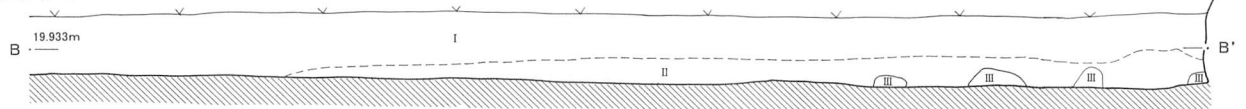
調査は幅約2mのトレンチを2本設定し重機による表土除去後、人力による表面精査を行なった。遺構と遺物は確認されなかったため2月2日調査を終了した。



#### トレンチ 1



#### トレンチ 2



I. 暗褐色土 表土、2cm以下ローム多く含む

II. 暗褐色土 5～10cm大ローム多く含む

III. 褐色土 地山ローム

第15図 亀居遺跡第52地点調査区域図 (1/300)・土層 (1/60)



亀居遺跡集石土坑84



亀居遺跡集石土坑85



亀居遺跡集石土坑86



亀居遺跡集石土坑87



亀居遺跡集石土坑88



亀居遺跡集石土坑89



亀居遺跡第51地点屋外炉



亀居遺跡第51地点土坑1・ピット5



亀居遺跡第51地点土坑 2



亀居遺跡第51地点土坑 3



亀居遺跡第51地点土坑 4



亀居遺跡第51地点調査風景

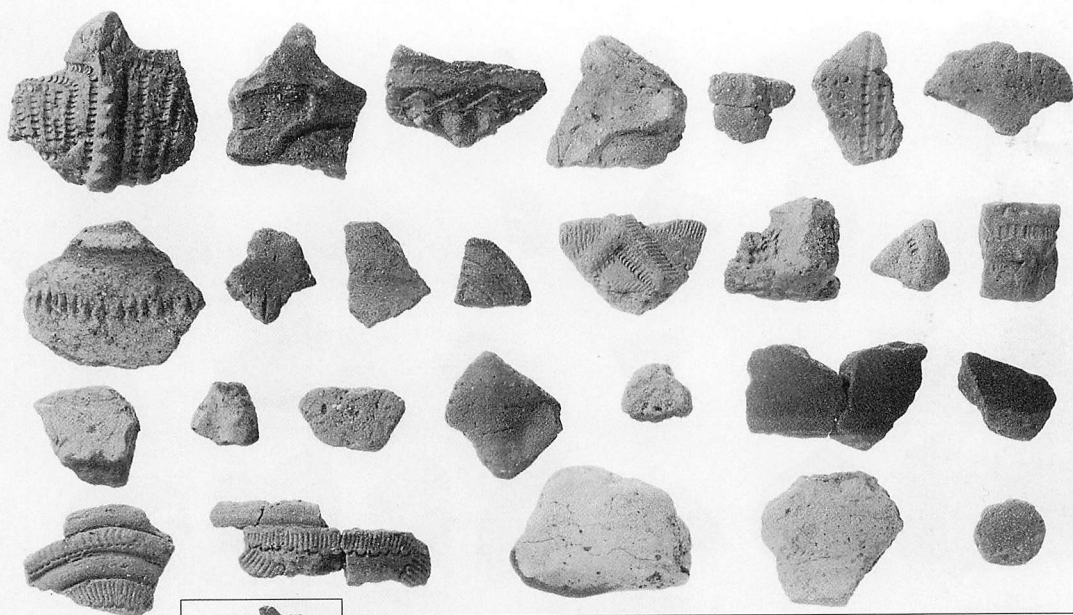


亀居遺跡第51地点東側調査区全景

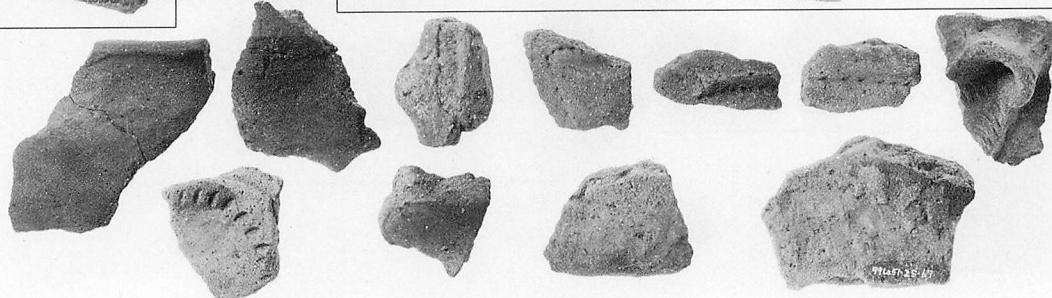


亀居遺跡第51地点西側調査区全景

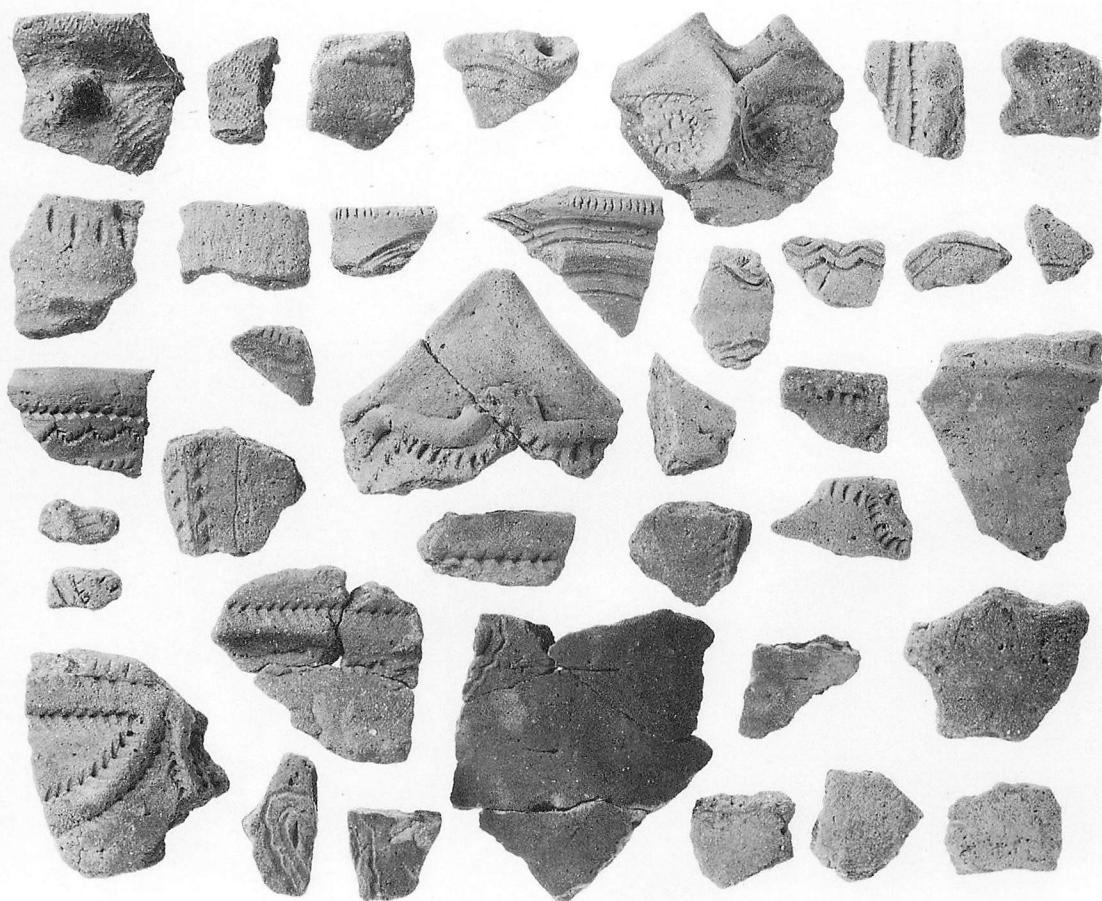
土坑84



土坑85

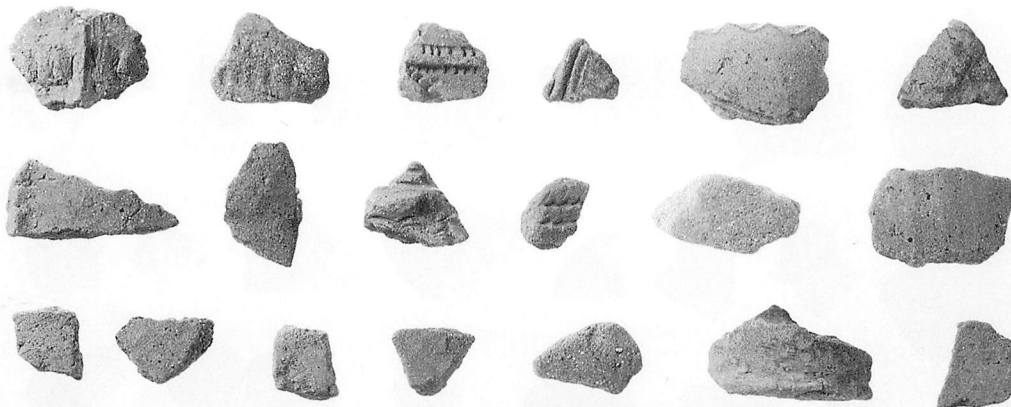


亀居遺跡第51地点集石土坑84・85出土土器 (No 1 ~ 38)

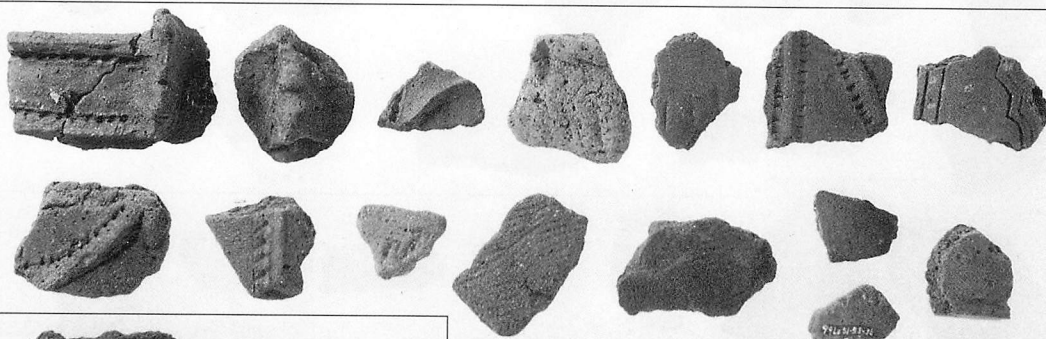


亀居遺跡第51地点集石土坑86出土土器 (No39~75)

土坑87



土坑88

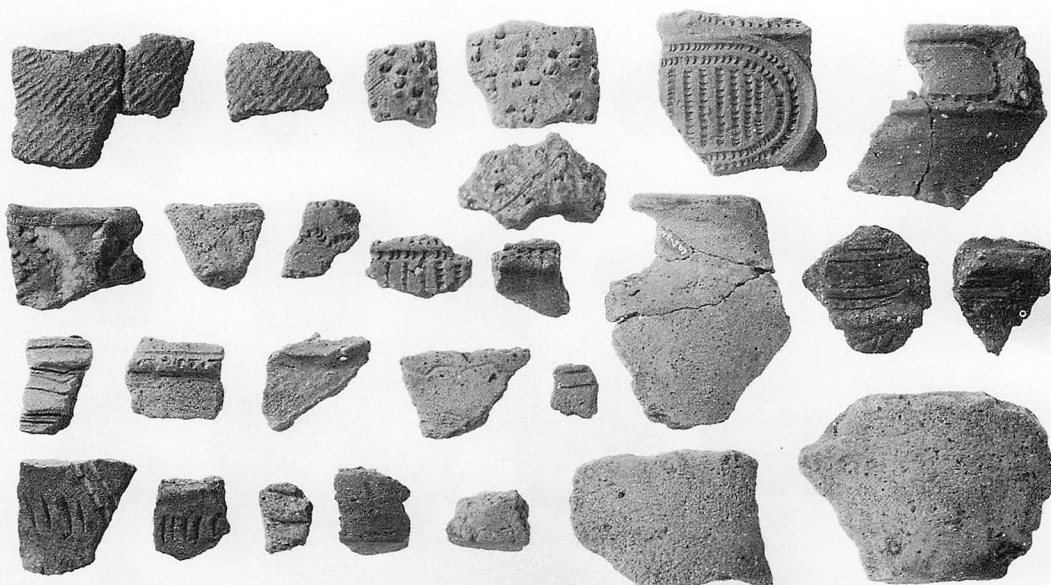


土坑89



亀居遺跡第51地点集石土坑87・88・89出土土器 (No76~112)

土坑 1



土坑 3



土坑 4



P10



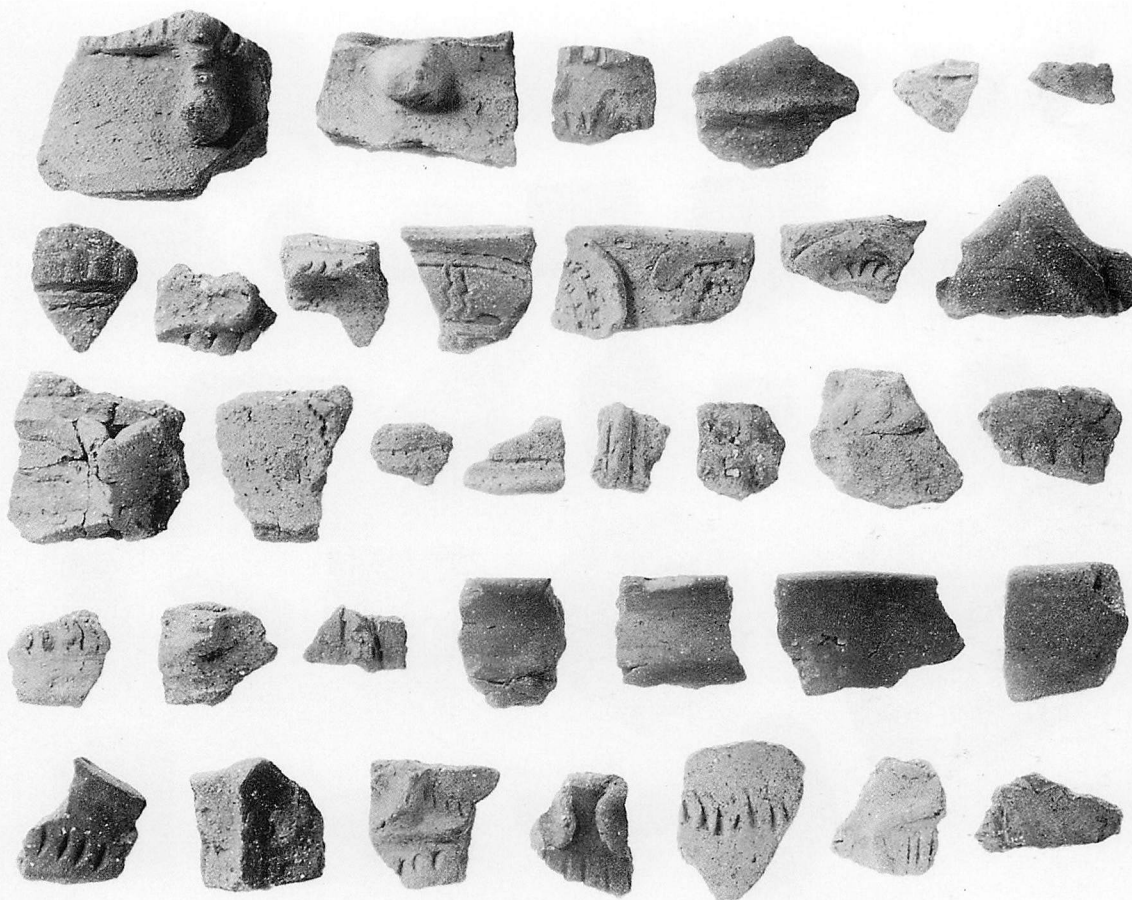
P10



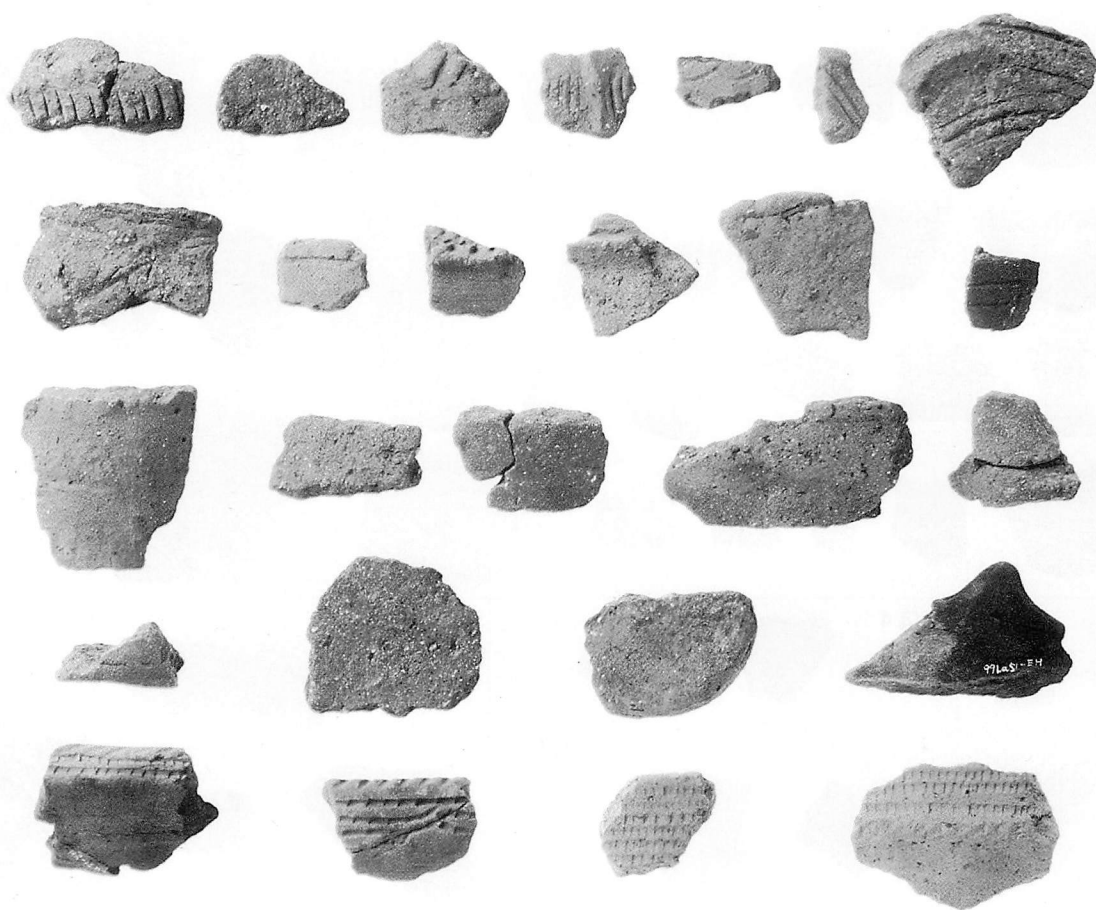
P11



亀居遺跡第51地点土坑・ピット出土土器



亀居遺跡第51地点遺構外出土土器 (No 1 ~ 35)



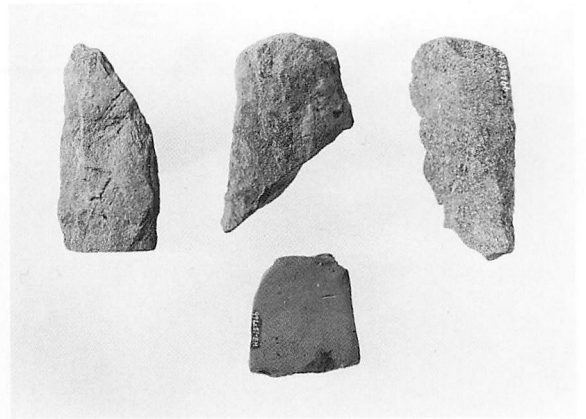
亀居遺跡第51地点遺構外出土土器 (No36~61)



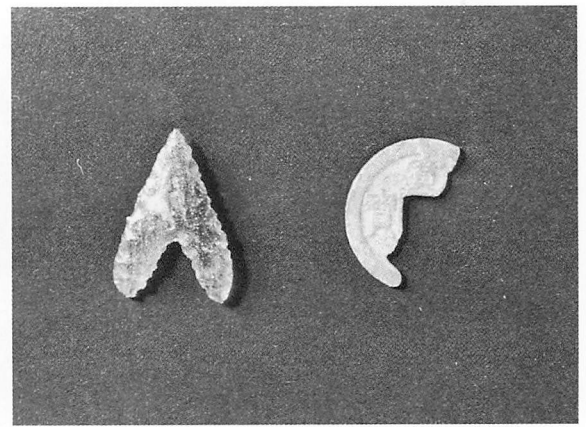
亀居遺跡第51地点遺構外出土土器 (No62~94)



亀居遺跡第51地点遺構外出土土器 (No95~120)



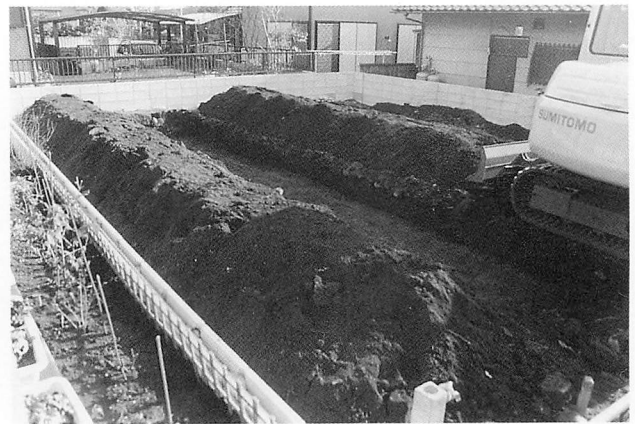
亀居遺跡第51地点出土石器・砥石



亀居遺跡第51地点出土石鏃・銭貨



亀居遺跡第52地点試掘近景



亀居遺跡第52地点試掘近景



江川南遺跡第10地点試掘近景



江川南遺跡第10地点試掘トレンチ 1